

4月定例手賀沼探鳥会

日 時 2018.4.8 9:00~12:00

晴れ 微風 15℃

2日前の下見では、強い北風で沼面は白波立ち、歩行も困難な状況で、当然ながら本番当日での影響が心配でしたが、一転、快晴とも云えるほどの好天に恵まれた探鳥会になりました。

葦原は、その強風で疎らになり、視界が良く、北千葉導水ではコガモ、カワセミ、トビを見て、ホオジロのさえずりを耳にし、ヒドリ橋へ遊歩道に行く。ユリカモメの飛翔を横目に、カンムリカイツブリの夏羽直前の姿は、日当たりも良く映えていた。

ヒドリ橋では、枯れたナガエツルノゲイトウの“浮島”が散見し、カイツブリ、コブハクチョウも迷惑そうに泳いでいた。クイナもバンも見当たらなかった。心配した通り鳥影が薄く、常連のミサゴからも見離され、次のポイント、道の駅へトイレ休憩に。

ハス田をパスし、お立ち台から染井入落しまで、コチドリをターゲットに歩むと、水路直前の田んぼに2羽が姿を見せてくれた。予告していた手前、居なかったらと内心不安一杯だったので、ほっとした。

お立ち台までの帰路、意外にも残留のヒドリガモ3羽、コブハクチョウの営巢中を認め、少し北風が強くなり肌寒くなってきたので、早めに引き上げることになりました。

鉄塔に帰着したハヤブサや、車中からサンバを認めた幸運な方もいて、参加者数35名、一人当たり1種をやっとクリアしたひやひやの探鳥会でした。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、コチドリ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、サンバ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計37種 番外 カワラバト

<参加者>計35名

(担当) 松本勝英